

令和2年9月 高原町教育委員会定例会議事録

1 日 時 令和2年9月23日(水) 14時5分～15時50分

2 場 所 高原町中央公民館 2階第2会議室

3 出席委員 教育長 西田次良
教育委員 有水りえ子 福丸幸治
後藤良文 今西美穂

4 欠席委員 なし

5 事務局 教育総務課
課長 末永恵治 対策監 酒井昭弘
課長補佐 江田雅宏 係長 外村英樹

6 会議内容

◎開会

14時05分

【1 開会】

西田教育長 開会を宣告する。

【2 議事録署名委員の指名】

西田教育長 議事録の署名人に、教育長と後藤委員を指名する。

【3 教育委員会の現況報告】

西田教育長 新型コロナウイルス感染症の状況を報告いたします。9月13日に県のレベルが2から1に引き下げられ、9月22日まで8日間連続でPCRが0である。4連休で規制が緩和されかなり人が動いている。10月1日から「Go Toトラベル」の東京が開催で気になるところだが何とか終息して欲しいと思っている。

学校教育は、1学期後半が高原中、後川内小中学校が8月21日から授業開始。残りの3校も27日から1学期後半がスタートしている。夏休みの間に4日間の授業日を設定しているため始業開始の日にちが異なる。学校開始前に臨時校長会を開催。コロナへの対応、今後の学校行事等の対応についての話し合い。夏休み中は大きな事故、事件等の報告は無かったが、9月6、7日の台風10号の接近に伴い9月4日の段階で臨時休校の連絡をした。被害は広原小の門左手の大木が根元から倒れた。他の学校は2～3m程度の枝が折れたり、雨漏りはあったものの、各家庭の被害もなく児童生徒保護者の怪我等もなかった。

運動会は4校開催済み。9月13日、高原中が1日雨のため順延。それ以外は19日狭野小、20日高原小、広原小が実施。夜中まで雨が降っていたため心配されたが、朝は雨も止み、曇り空でグランドコンディションも良く、午前中で終了。食事も無し。保護者等の人数制限もあり、こじんまりした会となった。コロナ対策として地区のテントは張らず、

グラウンド周りがすっきりしていた。各自タープや椅子などを設置されリラックスした状態で、競技がある時は前に来て写真撮影などされていた。各学校プログラムを工夫し午前中の短縮版になったが、アイデアを活かした競技で子供たちも一致団結し例年と変わらず頑張っていた。

定期の学校訪問については、本日後川内小、6月後川内中、7月高原小で本年度の定期訪問3校終了。後川内小も今年校長が赴任したばかりだが非常に意欲的に課題を明確にしながら取り組んでくれている。今後広原小が重点支援校訪問を予定している。一貫教育関係が足踏み状態だが、全職員参加の授業研究会を高原中と狭野小で予定している。今年も定期訪問も含めそれぞれ1校、2校行く予定。

社会教育関係では、大きな行事等は中止。毎年九州ジュニア長距離合宿等が来ていたが今年は中止。スポーツ関係は大会等が中止のため活躍したとの報告はなし。

8月25日に通学路の合同点検対策会議を実施。各学校から危険な場所を挙げてもらい、小林土木事務所、小林警察署、民生児童委員代表、各学校、町の担当も一緒になり点検し各立場で見えていただいている。アイワホールの歩道も私が2年前の赴任当時は敷地に床がはみ出していたが、昨年買収が終わり改善され2年がかりで綺麗になった。色々な箇所です工事が進んでいるところは確実に進んでいる。2回目の会議で進捗状況を各担当から報告していただく。

本日議事の中に高原町議会9月定例会の報告があるが、教育委員会の委員の任命があった。後藤委員と今西委員の任期満了に伴う人事案件である。2件とも全会一致で同意をいただいた。後藤委員は令和2年10月以降も引き続き教育委員として活躍いただく。今西委員は保護者目線で教育行政に御提言いただいたが任期満了で退任される。ありがとうございました。後任には広原在住の温谷一浩氏にご就任いただくこととなっている。会の最後でお二人には挨拶をいただきたい。事務局から補足があればお願いします。

(補足説明)

末永課長

・連絡事項になるが、先ほどの人事案件で10月8日に辞令交付式が8時30分から役場庁舎の2階応接室で行われる。案内は事前にお知らせしているが、出席をお願いします。その後、定例会、総合教育会議を開催。総合政策課より文書が来ていると思います。

11月4日に教育長と有水委員に県の理事になっていただいている市町村教育委員会連合会の理事会が行われるので、出席をお願いいたします。事務局から以上です。

～質疑～

有水委員

通学路の合同点検で問題点の有るようなところはあったのか。

～回答～

外村係長

点検は毎年実施しているが、改良が終わっていないところは引き続き要望として上がってくるので、関係機関に引き続き働きかけていく。重大な命の危険があるというような場所はないが、子供たちが常日頃

歩く所なので、念には念を入れ道路改良をしていただきたいという思いで、今後とも実施していきたい。

～質疑～

後藤委員

先日のファミリーマート付近の人身事故についてだが、20日程前にお年寄りの76歳の方が自転車で後ろを見ず横断し事故に遭った。以前から近隣住民からも危険横断をするとその方は認識されていた。自分も事故当時数台後方にいて遭遇したが、道路が綺麗になりすぎても今一度横断の仕方など迷ってきたりするのでは注意をしていかなければならないと感じた。

報告事項の県への要望とはどのようなものか教えていただきたい。

～回答～

末永課長

8月20日の県への要望を高原町として9項目している。教育委員会関係は30人学級の実現、給付型奨学金の創設の要望を行っている。県からは国に対しあらゆる機会を通じて30人学級を要望していくと回答をいただいている。奨学金については、創設している部分もあるが国にお願いしていくと回答をいただいている。

【4 議事】

《(1) 高原町議会9月定例議会について》

末永課長

(資料に基づき説明)

～質疑～

福丸委員

教育委員の任命についてであるが、今回退任される今西委員には尽力いただき女性として母親としてご意見いただき感謝している。女性・母親の立場からということで退任後も意見などお願いしたいところである。次の委員は中学生のお子様がいる男性とのことだが、今まで委員の男女のつり合いが取れていたが、女性の活躍・母親の意見というのが弱くなるのではないかと思う。町と教育委員会のほうでも検討されたと思うが、簡単で構わないが、任命について母親という選択肢はなかったのかお聞かせいただきたい。

～回答～

末永課長

後藤委員、今西委員が本年度任期を迎えるとのことで4月当初より再度ご依頼してきた。後藤委員はご理解いただいたが、今西委員は、今回限りということであった。地区のバランス、今回は後川内、広原の委員を選ぶということであり、今西委員については、女性であり保護者であり広原地区ということであった。町長・教育長も交え検討したが、全ての条件を満たすことは難しく、保護者はいたほうが良いとのことで、後任に温谷委員に引き受けていただいた。

《(2) 定期監査結果について》

末永課長 (資料に基づき説明)

～質疑なし～

《(3) 学校のあり方検討委員会における保護者アンケートの実施について》

末永課長 (資料に基づき説明)

～質疑なし～

《(4) 令和2年度準要保護追加認定について》

末永課長 (資料に基づき説明)

～質疑なし～

《(5) 学校の働き方改革について》

酒井対策監 (資料に基づき説明)

～質疑～

有水委員 地域との連携で、後川内校区は地域と先生が連携して夏祭りを行っているが、どれくらい時間を要しているか分からないところもあるが、このような事になった時に、地域の方にどうやって理解をしてもらうか、どのような対応方法があるのか、地域からどのような反応がでるのか考えたところであった。

西田教育長 ご意見としてうかがった。

～質疑～

今西委員 部活動について質問だが、外部コーチがいると思うが、働き方改革に関連しているのか。地域住民でボランティアでされている方もいると思うが、どの部活にどれくらい携わっているか現状を把握しているのか。

～回答～

酒井対策監 現状ボランティアの方のはっきりした人数の把握は難しい。外部コーチで来ている人もいる。

外村係長 有償と無償がある。本町において予算化されている方は1名。高原中の外部指導者がいる。引率責任が伴う特殊なポジションということ

で、有償でお願いしている。いずれは全て有償化して、一定の責任を負っていただき公費で支出し、働き方改革と上手く連動していけたらと考えている。

西田教育長 (事務局方針について了承を求める。)
～承認～

《(6) その他》

～質疑～

福丸委員 8月7日に行われた学校整備ICTのプロポーザルのその後の経過について教えていただきたい。

～回答～

外村係長 8月7日にICTのプロポーザルを行った。契約はしたが一局的にGIGAスクールのための端末を仕入れるのにどの業者も悪戦苦闘している。年内中には導入したいと考えている。納入状況が分かれば今後お伝えしたい。

～質疑～

福丸委員 先生方のコンプライアンスの徹底(意識の高め方)について、文書の通達だけでなく今までは教育長が出向いて行き勉強会などは無かったのか。

～回答～

酒井対策監 年間を通して各学校で研修を行っている。新聞等で事案があった場合には注意喚起など行っている。全員集めては一貫教育の研修の機会や、教育長が学校訪問の際に直接お話しいただく機会があった。コンプライアンスを進めるには管理職が職員の意識を高めていくことが大事である。管理職には直接教育委員会が、校長・教頭それぞれ研修を行っている。本年度は県としての課題、町としての課題を対策監(私)が担当している。

校長会の中でも時折教育長と、対策監(私)で話しをしている。
現状は文書で周知すると共に、直接的なもの両方で進めている。

～質疑～

今西委員 2つ質問したい。
8月末に夏休みが明け1学期後半が始まったが、夏休み明けに学校に行きづらい子供さんがいるのか、現状を把握されているのか教えていただきたい。

授業の習熟度についてだが、7月の定例会で中学校の中間テストの結果を習熟度を見るため教えていただきたいと質問したが、分からないとの回答であった。今年は全国統一模試が無くなったようだが、子供たちの理解度・習熟度をどのように測っているのか。保護者の中でも、特に受験生の保護者がコロナの影響で、授業数の減少の影響かは

分からないが、習熟度・理解度について不安な思いを抱えていると耳にした。

学校現場も本当に頑張っているのは分かるが、そのような声があるのを知っていただきたい。

～回答～

酒井対策監

夏休み明けの不登校が何名かいる。学校からの報告・学校を訪問しての聞き取りし把握している。例年9月1日の自殺数が多いと言われているが、夏休みが始まる時、もうすぐ終わる時に心配な子供さんについては、声掛けをしていただいている。登校渋りがあるのも事実。私たちが把握している以外で、教育委員でも把握していることがあれば教えていただきたい。保護者から病欠の連絡が来たら信じざるをえない。いわゆる発熱や腹痛等の病欠が数日続くと、学校側も他にも理由があるのではと動いているが、気になっている生徒さんの情報などあればありがたい。

習熟度については、本年度は全国との比較が出来るテスト、全国学力テスト（小6と中3）、宮崎県学力調査（小4、5、中1、2）が有るが今年はいずれも中止となっている。ただし、12月に中2、小5のみ県の学力調査を行うので中2、小5については、県での中の平均は把握できる。また本町ではベネッセの学力調査を毎年実施、本年度も行うので全国との比較が1つは出来る。中3については、受験があるので早い時期にテストを受けているが、結果がまだ出てないので暫くお待ちいただきたい。受験生は地区の学力診断テストが年4回実施。今のところ地区内のみ診断テスト。今後、県全域の診断テストも行われるので、県での自分の位置が把握できるのではないかと。学校でテストの計画を伝えているが、3者面談等で保護者や生徒に周知したい。不安を取り除けるよう校長会などでもお話させていただく。次年度は、日程が決定している。コロナの状況で変更もあるかもしれないが、全国学力・県の調査・町の調査を行う予定。

～質疑～

福丸委員

先日の定例会で質問させていただいたが、定例会後の学校訪問はどうなったのかお聞きしたい。実際に学校に行き、生徒の学習態度・学校の雰囲気を見てみたいが前向きに検討していただいたのか。その後どうなったか教えていただきたい。

～回答～

酒井対策監

9月28日に町の校長会が行われる。その中で11月～2月の学校行事等を見ながら教育委員の訪問が出来るよう定期の学校訪問を実施しない3校について日程調整をお願いする段階である。今後決まっていく予定。実施の方向で進めている。

末永課長

今度の校長会で酒井対策監に提案していただき、定期訪問をしていない3つの小学校へ日程調整を行いながら実施していく方針である。

～質疑～

福丸委員

I C Tについてだがホームページを見ると、I C T関係のG I G Aスクール構造の実現に向けて4つのポイントの欄に学校の教育I C T担当者として書いてあるが、教育I C T担当者は高原町で言えば誰にあたるのか教えていただきたい。

～回答～

酒井対策監

学校の現場で進めていく担当で言えば視聴覚主任、他の自治体は情報教育担当がある。本町では視聴覚主任にあたる。本町ではパソコンがコンピューター室にある関係で視聴覚主任の担当になるが、それが1歩進む形、今後視聴覚から情報教育になっていくのかなと感じている。

【5 その他】

《(1) 高原町総合教育会議》

(説 明)

末永課長

10月8日の定例会終了後に高原町総合教育会議を開催。議題はI C T教育について。総合政策課において大容量に対応できる光ケーブルを来年度までに整備することとしている。オンライン授業が出来るようにするが、W i - F iは個人の対応になるため諸問題があるので町長等と提案含め意見を交わしていただきたい。世帯の収入・一人1台導入するがタブレットを持って帰らせるのが可能かなど、教育上、色々な壁がある。色々な課題を出し合っていたきたい。

外村係長

整備の側からI C Tの話をする、G I G Aスクールは国が3年から4年計画で段階的に導入する方針であったが、コロナの影響で一気になり、学校に行けないので家庭教育・家での授業が出来る体制を整えなければという方針が変わった。現場を無視した理論先行型の事業である。現状、現実と理想が乖離している最大の理由である。福丸委員からもあったように税金の無駄使いにならないようにとあったが、一方で運用をする学校側は非常に混乱している。これを上手く運用出来る先生とそうでない先生の格差も生まれてきている。本町でもI C T教育をしていくべきかの方針が固まっていない中、事業を進めても税金の無駄遣いにならないかという恐れがある。

例えばI C T指導員を今の段階で導入すればそれも税金の無駄遣いになる可能性もある。

家庭教育で通信・教育を受けるとなった場合、通信料は家庭が負担しなければならない。

国が認めている要保護準要保護という世帯があるが、年間国が公費で支給しているのは金額は年間1万円としている。通信料が月5,000円はかかる。残り10ヶ月分は家庭で手出しすることになる。理想も大事だが、現実に喘いでいる子供たちをどう救っていくか単に公費で救うとの短絡的な話はしないでいただきたい。予算を組む側から話をさせていただいた。そこを踏まえ意見をかわしていただきたい。

西田教育長 次回定例会は、
令和2年10月8日(木)辞令交付式終了後～

西田教育長 後藤委員、今西委員にあいさつをお願いします。

後藤委員 任期満了ということであつという間に4年間が過ぎた。自営業をしているため、忙しい時には教育長をはじめ皆様に迷惑をおかけした。分からないことも多く、1つ1つ勉強しながら取り組んでいきたい。未熟だが今後も皆様と協力して頑張っていきたい。よろしくお願いいたします。

今西委員 平成28年10月より教育委員を拝命し、1期4年間短い間だったがお世話になりました。定例会、研修会、諸会議、学校訪問、入学式、卒業式での告辞等々、全てが戸惑いからのはじまりであった。しかし西田教育長や江田前教育長をはじめ、教育委員・教育委員会の皆様、一人一人の出会いに恵まれ今に至り深く感謝している。

この4年間は、恥ずかしい思いもしてきたが、次第に学びに変わり、今では貴重な財産となった。

特に保護者代表という立場で教育行政に関われたことは、家庭や仕事、学校行事等との調整には苦勞したが何事にも代えがたい貴重な経験となった。

唯一癒されたのが学校訪問であった。子どもたちの授業を学ぶ真っすぐなまなざしや、あいさつするときの笑顔は、私を元気にしてくれた。教壇に立つ先生方の懸命な姿にはやる気もらった。

そして、高原町教育行政に関わることにより何より感じたことは、行政が学校と地域としっかり連携をとり「高原町の子どもたちは大事に育てられている。」ことである。

わが子3人に「高原で小中学校に通ってどうだった。」と質問してみたら、長男は、「友人や先生、少年団の方々に恵まれた。」、次男は、「いつも誰かに見守られている気がした。」、三男は、「いつでも、どこでも、いろんな人に声をかけられる。」との返事。これらは、地域ぐるみで大事に育てられたという現れではないでしょうか。これからも高原の子どもたちが、「高原で育ててよかった。」と思える教育行政であり続けてほしいと願う。4年間ありがとうございました。

西田教育長 閉会を宣告する。

◎閉 会

15時50分

議事録署名委員

西田次良

後藤良文